

## 質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 トナムIC工事

### 質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	【単価番号12, 13, 16, 17, 20構造物掘削 特殊部B, C1-1, C1-4, C2-1, C2-4】 設計図 函渠工 33/35, 橋梁工 十三線の沢川橋 64, 75/79, 橋梁工 久我の沢川橋57, 70/73土留工の数量表および断面図において、各土質(砂質土や軟岩等)におけるグラウンドアンカーの削孔長を読み取ることができません。 土質区分及び各土質の削孔長をご教示下さい。	土質区分及び各土質の削孔長において記載の不備がありましたので、公告図書を後日訂正致します。
2	【単価番号12, 13, 16, 17, 20構造物掘削 特殊部B, C1-1, C1-4, C2-1, C2-4】 設計図 函渠工 33/35, 橋梁工 十三線の沢川橋 64, 75/79, 橋梁工 久我の沢川橋57, 70/73土留工の数量表および計画図において、グラウンドアンカーの設計アンカー力を確認することができません。 各アンカーの設計アンカー力をご教示下さい。	各アンカーの設計アンカー力において記載の不備がありましたので、公告図書を後日訂正致します。
3	【単価番号12, 13, 16, 17, 20構造物掘削 特殊部B, C1-1, C1-4, C2-1, C2-4】 設計図 函渠工 33/35, 橋梁工 十三線の沢川橋 64, 75/79, 橋梁工久我の沢川橋57, 70/73土留工の数量表および計画図において、グラウンドアンカー用の荷重計の記載がありません。 設置しないと考えるよろしいでしょうか。 設置する場合は、荷重計の種類および個数をご教示ください。	ご認識の通りです。

番号	質問事項	回答
4	<p>【単価番号13, 16, 17, 20構造物掘削 特殊部C1-1, C1-4, C2-1, C2-4】  設計図 橋梁工 十三線の沢川橋 64, 75/79, 橋梁工久我の沢川57, 70/73仮設土留工の数量表において、アンカー腹起し材は中古品とリース品のどちらを想定しているでしょうか。  リース品の場合は、リース期間をご教示ください。</p>	<p>リース品を想定しています。  各単価項目のリース期間は、C1-1は16ヶ月、C1-4は5ヶ月、C2-1は5ヶ月、C2-4は6ヶ月を想定しています。</p>
5	<p>【単価番号14 構造物掘削 特殊部C1-2】  設計図 橋梁工 十三線の沢川橋 67/79, 土留工計画図において、土留矢板の根入れ部の地層はHf-nと記載されていますが、Hf-nのN値が閲覧資料等からも確認できません。  想定されているHf-nのN値をご教示ください。</p>	<p>Hf-nが誤りでHf-mが正となります。</p>
6	<p>【特記仕様書28-3-3 構造物掘削 普通部A】  特記仕様書28-3-3 構造物掘削 普通部Aの区分内容において、軟岩(土質区分：軟岩A)の掘削とありますが、特記仕様書28-3-1 道路掘削 硬岩Aと同様に機械掘削を想定していると考えてよろしいでしょうか。  仮に発破掘削を想定されている場合、土木工事積算基準(令和6年度版)第7編 土工11-3に記載の「火薬取扱い費」に要する費用の計上先をご教示ください。</p>	<p>機械掘削を想定しております。</p>
7	<p>【特記仕様書28-3-1 道路掘削 硬岩A】  特記仕様書28-3-1 道路掘削 硬岩Aの区分内容において、「切土部における硬岩の機械掘削、積込み」とありますが、硬岩の機械掘削は土木工事積算基準(令和6年度版)第7編 土工11-4に記載の「普通ハッパを使用できない場合」を準拠して行うと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>

番号	質問事項	回答
8	<p>【特記仕様書28-3-3 構造物掘削及び構造物裏込め工】  特記仕様書28-3-3 構造物掘削及び構造物裏込め工(5)グラウンドアンカー工  2)材料及び施工の③において、「多サイクル確認試験に要する費用は関連の  単価項目に含む」とあります。  割掛対象表(共通仮設費)の多サイクル確認試験費は単価番号49～87のグラウ  ンドアンカー工が対象となっていますので、上記構造物掘削 特殊部のグラウ  ンドアンカーの多サイクル確認試験費の計上先が分かりません。  計上先及び個所数をご教示ください。</p>	<p>構造物掘削 特殊部については、多サイクル確認試験は行いません。  公告図書を後日訂正致します。</p>
9	<p>【単価番号21, 22, 24, 25, 26 構造物掘削 特殊D1-1, D1-2, D2-2, D3-1, D3-2】  設計図 橋梁工 両国川第一橋36～37/38, 上トマム橋41～42/43, 両国川第二橋  40～42/43地山補強土工図において、補強材(異形棒鋼)、背面排水材、各種コ  ンクリート工(裏込めコン、天端コン、埋戻しコン、現場打ちコン)等が図示  されていますが、数量表が見当たりません。  上記単価番号の地山補強土工に関連する項目(種別)の数量総括表を提示して  頂けないでしょうか。</p>	<p>数量表の記載が漏れておりましたので、公告図書を後日訂正致します。</p>
10	<p>【特記仕様書28-3-3 構造物掘削 特殊部D2-1】  特記仕様書28-3-3 構造物掘削 特殊部D2-1の区分内容において、「地山補強  土工の設置撤去、既設盛土の掘削」とありますが、関連図面からは両者の施  工箇所が確認できません。  特殊部D2-1においては、上記作業はなしと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>構造物掘削 特殊部D2-1については、地山補強土工の設置撤去は  ありません。  公告図書を後日訂正致します。</p>